

会議名	長浜市指定管理者選定委員会第1委員会 (令和5年度第4回会議)
日時	令和5年10月25日 12:55～16:15
審査対象	西浅井福祉ステーション

審査結果概要

- (i) 施設所管課（長寿推進課）からの募集経過説明
- (ii) 申請団体（社会福祉法人長浜市社会福祉協議会）による説明、プレゼンテーション
- (iii) 質疑応答
- (iv) 採点、集計
1,000点満点中：759点（100点満点中：75.9点）
- (v) 審査
指定管理者候補として適当と判断する者
所在地 長浜市湖北町速水2745
名称 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会
代表者 会長 平井 和子
選定にあたっての条件 特になし

質疑応答

- 委員 : 地域窓口とはどういうもので、具体的にどういう相談を受けているのか。
- 申請者 : 地域窓口には常に職員が常駐し、生活支援コーディネーターと連携をとって困りごとに対応している。例えば高齢者の生活困難であれば包括支援センターにつないでいる。生活に関する相談や、自治会への備品貸し出しの相談など多岐にわたる。
- 委員 : 全国的に高齢者虐待が問題化する中、そうしたことを防ぐ研修は重要と思うが、常勤、非常勤など様々な勤務形態がある中でどのように研修機会を確保しているか。
- 申請者 : 非常勤職員は外部研修の受講は難しいが、月1回は時間外に集まって会議と研修を行っている。最近はWEB研修の契約もしており、虐待等も研修メニューに取り入れている。
- 委員 : デイサービスには利用者の元気度チェックの側面もあるかと思うが、一人暮らしの方に大雪や暴風雨時の安否確認を行うことはあるのか。
- 申請者 : 西浅井地域では社会福祉協議会のシェア率が高く、災害時は安否確認の取組みも行っている。また、施設に隣接して診療所もあるので、デイサービスと医療との

連携を密にとりながら事業運営している。

委員 : 利用者数が年間9600人と多い中でくもん学習療法が行われているが、通所介護利用者を対象にしているのか。

申請者 : デイサービス利用者を対象にしている。

委員 : 日常的に行っているのか、何曜日と決めて実施しているのか？

申請者 : 認知症対策として希望者を対象に行っており、約10人が利用している。その他、元気な人は畑で野菜を作ってフードバンクに届けるとか、いろいろなメニューを採用している。

委員 : 他の福祉ステーションでもやっているのか。

申請者 : くもんは西浅井のデイサービスだけで実施。高月では別の教材を使っている。各事業所でふさわしい教材を選んで実施している。

審査

委員 : 地域窓口ではなんでも相談できるサービスを提供しており、地域に必要な施設として努力されていて、指定管理者としてふさわしいと思う。

委員 : 西浅井は民間事業者が参入しにくい地域であり、地域になくってはならない施設である。研修等しっかり行って事故や事件が起こらないように、安心して利用できる施設であり続けてほしい。

委員 : 医療と介護の連携もされており、今後もきめ細やかな対応をお願いしたい。

委員 : くもん学習療法など、利用者のニーズにあったサービスを提供しており、とても共感できた。

委員 : 是非これからも頑張ってもらいたいと思うが、くもん学習療法を採用している根拠、例えば認知症の率が高いなどの科学的な裏付けがあると説得力が増すと思う。

委員長 : 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会を指定管理者候補として適当と判断してもよろしいか。

全員 : 異議なし。